

令和 4 年度 犬山城関連主要事業の進捗について

1. 犬山城の保存活用に関する事業

(1) 史跡犬山城跡整備基本計画策定・・・【資料 2】

○史跡指定地である城山、三光寺山に加えて、追加指定候補地である犬山市福祉会館跡地を含む史跡全体を対象とした整備基本計画を策定する。

令和 4 年度は、現状と課題の整理、整備の基本理念と基本方針の検討を行った。

(2) 石垣調査の実施・・・【資料 3】

○史跡犬山城跡の石垣の三次元測量等を行い、現状を調査して石垣カルテを作成し、保存・修理のための基礎資料とする。

(実施箇所)：本丸東側、杉の丸南側・西側

(3) 石垣保護工事・・・【資料 4】

○松の丸南東側石垣及び石垣下斜面の立木の上に樹脂製ネットを設置工事した。

(工期)：6 月 16 日から 10 月 21 日

(4) 犬山城黒門跡礎石発掘調査・・・【資料 5】

○市外に移築され、現存している黒門の原位置での復元整備について検討するため、礎石の残存状況や地形の改変状況を確認するための発掘調査を実施した。

現状で確認できる礎石とみられる石は、原位置を留めていなかったが、支柱の礎石の抜き取り穴の可能性のある土坑を確認した。

(時期)：8 月下旬、12 月下旬

(5) 移築された門・櫓の復元に向けた調査・・・【資料 6】

○犬山城城郭調査の一環として、廃城時に移築された市内外に現存する犬山城の門、櫓について、将来的な移築又は復元の際の基礎資料とし、記録としての保存を図ることを目的として、実測調査及び痕跡調査を実施した。

(対象)：運善寺山門（一宮市：伝清水門）、専修院山門（扶桑町：伝矢来門）

瑞泉寺山門（犬山市：伝内田門）

(6) 犬山城城郭内樹木剪定伐採・・・【資料 7】

○国宝犬山城天守・史跡犬山城跡 保存活用計画に基づき、遺構、眺望、来訪者、植生、景観に影響がある樹木を対象に、伐採、剪定等を実施。

・委託期間：令和 5 年 2 月 10 日～令和 5 年 3 月 25 日

・委託金額：7,810,000 円

・委託業者：有限会社芳葉園土木

- ・城郭内西側 3 本、城山東側 8 本伐採

城山七曲り北 3 本上部剪定及び登閣道黒門付近上部枯枝除去 1 本

城山東側切岸面及び進入路整備

令和 2 年度伐採残置木処理

(7) 犬山城天守防災対策

- 犬山城調査整備委員会で協議した結果、犬山城の防災計画については、天守だけでなく史跡の防災の観点も含めて、別に組織を立ち上げて検討することとなった。

(8) 「近世城郭の天守群」の取り組み

- 令和 4 年度の主な事業は以下のとおり

- ・海外（フランス）の専門家（フランス・イコモスのメンバー）からの意見聴取をオンラインで行い、「近世城郭の天守群」での世界遺産登録に向けた課題の洗い出しを行うとともに、登録に向けた技術的アドバイスを受けた。
- ・市民レベルの交流の場として「3 市市民交流会」を松本市で開催し（8 月 4・5 日）、実際に群馬県富岡製糸場の世界遺産登録の際に市民啓発活動に携わった方から先進事例を学んだ。
- ・松本市、松江市、犬山市の 3 市長が全国市長会に合わせて一堂に会し（6 月 1 日）、世界遺産登録に向けた取組の推進について意見交換を行い、連携強化を図った。

2. 犬山城の管理に関する事業

(1) 主な維持・修繕・・・【資料 8】

- 来場者が快適に利用できるよう、城郭内トイレ洋式化改修工事を実施（令和 4 年 10 月 31 日）
- 犬山城管理事務所屋根瓦にずれが生じているため改修を実施（令和 4 年 6 月 15 日）
- 夜間の安全確保のため管理事務所入口外部照明を設置（令和 4 年 9 月 30 日）
- 犬山城天守東面千鳥破風棟瓦漆喰巻きが破損修繕（令和 4 年 12 月 12 日）
- 七曲石垣崩落個所の応急修理を実施（令和 4 年 7 月 7 日）
- 弓矢櫓石垣崩落個所の応急修理を実施（令和 4 年 9 月 28 日）
- 空堀、城山西斜面周辺の草刈りを 7 月及び 11 月に実施

(2) 犬山城の消防訓練及び無料開放の実施・防災対策強化・・・【資料 9】

- 貴重な文化財保護の大切さを終始するため、1 月 26 日の文化財防火デーに合わせ消防訓練及び無料開放を実施
 - ・日 時：令和 5 年 1 月 26 日（木）午前 10 時から午前 11 時 30 分・
 - ・参加者：41 名（犬山城 24 名 消防本部・署 10 名 歴史まちづくり課 4 名 夜間警備員 3 名）
 - ・無料開放：9：00～17：00
 - ・入場者数：714 人
- 総合訓練
 - ・内 容：文化財の防災意識を高めるとともに火災発生時の初動対応を円滑に行えるよう、犬山

城職員、消防本部・消防署との合同消防訓練を実施。

- ・想定：不審者の放火により天守2階中央付近から出火し延焼拡大をしている。天守内には多くの来城者がいる。

● 図上訓練

- ・消防本部予防課の指導により、天守からの出火を想定した図上訓練を実施
火災が発生した場合、その被害を最小限に抑えるため職員がとるべき行動を自ら考え、最善の方法を導き出すことが出来るよう“火災図上訓練”を繰り返し実施し、PDCA サイクル（計画→訓練→検証→マニュアル改定）によるマニュアルの整備と、初動体制の向上を図る。

● 夜間初動対応訓練（火災を想定）

- ・夜間における火災発生に迅速的確に初期対応を行えるよう、夜間警備員を対象に初動対応訓練を実施。

(3) 宿泊施設花火への対応

- ・花火実施日（令和4年7月27日 第1回犬山城管理委員会以降）
7/29（金）、7/30（土）
8/12（金）、8/13（土）、8/14（日）、8/19（金）、8/20（土）、8/26（金）、8/27（土）
9/7（水）、9/28（水）
10/28（金）
- ・花火対応
天守北東設置の放水銃1基から10分間城山東斜面に放水
夜間警備員による実施中の安全確認
- ・花火後の確認
翌朝公園橋から彩雲橋にかけての郷瀬川法面及び道路周辺の飛散物確認

(4) 犬山城天守床みがき

○令和4年12月29日（木）、市内在住の小・中学生とその保護者を対象として天守1・2階の床みがきを実施した。年末の多忙な時期にもかかわらず、20組の募集がほぼ一日で埋まってしまう人気振りで、市民の犬山城への関心の高さを感じることができた。

来年度以降も継続して実施し、将来的に『犬山城みらいサポーター』を設立して、市民とともに世界遺産登録を目指す取組に発展させていく予定。

（日時） 令和4年12月29日（木） 午前9時30分から10時30分

（参加者） 19組 大人17名 子ども30名